



「翼のゆくへ」

浜田修子 NOBUKO HAMADA

区切りの無い「かたち」と「色」と「空間構成」の3要素をどのレベルで共存させるか・・・

今の私の課題であり、ここからひとりひとりが自由に考えられる《感覚》《思い》を生み出す事が出来たらと思う。

作品「翼のゆくへ」

素材 ミクストメディア

サイズ H208cm×W240cm×D60cm(壁面レリーフ含む)

長谷川登 Noboru "Novol" Hasegawa

近年、自然エネルギーへの畏怖と憧れをテーマにすべての生命にとって絶対的な存在である太陽の光や月、水の流れなどを象徴として表現しています。

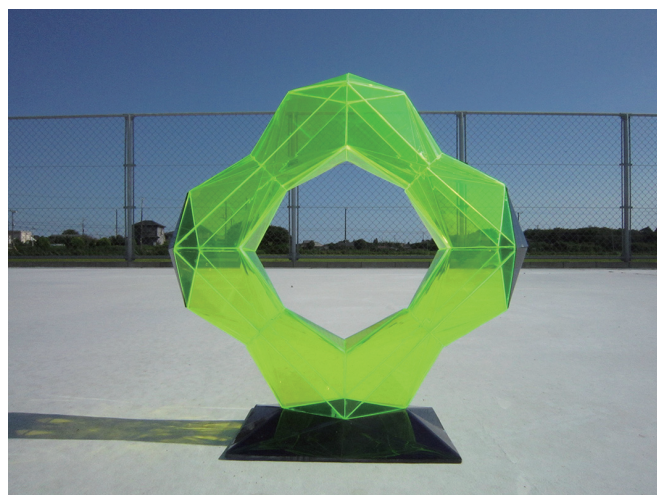
これらはすべての生命を等しく慈しみ育てる存在でありながら同時に冷酷で非情な面を見せつけたりします。

これまで形のイメージから導き出す展開図をもとに鉄板を加工して成立させるスタイルを基礎としてきましたが、新たな視覚的要素を加えるべく透明アクリルを用いた表現にも取り組んでいます。

作品「月輪」

素材 アクリル

サイズ H32.5cm×W32cm×D12cm



「月輪」



「昇華する時」

相澤久徳 Hisanori Aizawa

形としては見えないが、確かな存在である時間の流れと、その流れや動き、時代の中で存在している人間を意識しながら、形態に取り入れ、作品の動きの中でゆるやかな時の流れが感じられるように、作品制作をしている。

動きや流れといった抽象的な言葉を、自然石の持っている質感や、表現される表情の豊かさを利用しながら、動きのある柔らかな形のなかで、時や流れを感じられる作品タイトルと合わせ、現在発表を続けている。

作品 「昇華する時」

素材 大理石、黒御影石

サイズ H64cm×W40cm×D31cm

協力 一般社団法人 日本美術家連盟